

LPガスCP速報(2019年10月積)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **420** ^{ドル} (前月比+70^{ドル})

ブタン **435** ^{ドル} (前月比+75^{ドル})

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、サウジの石油施設がテロ攻撃を受ける前後で大きく変動した。前半は原油市況が軟化するなか、米国産LPガス供給は潤沢、中国PDHプロパン需要、インド、インドネシアの需要がブタン市況を下支えする形であったが、14日のテロ攻撃を受け、サウジアラムコがターム契約の積日遅延を通知、中東市場のタイト化懸念が高まった。CP先物は第3週に急騰、極東CFR市況は一時プロパン445^{ドル}、ブタン460^{ドル}に急騰、19日にはプロパンは395^{ドル}まで急落と乱高下、第4週末には落ち着いたもののプロパン415^{ドル}、ブタン430^{ドル}どころで推移した。フレート市況はサウジ出荷遅延を受けた米国産需要へのシフト、原油市況急騰によるバンカーオイル価格上昇により反騰した。

全米プロパン在庫は、輸出が増加し高水準となったものの、需要は不需要期で低迷、好調な生産で在庫は積み増しが続き20日時点で前年同期を30.5%上回っている。米モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況に追随、サウジの石油施設がテロを受けた影響で16日には262^{ドル}まで上昇したが、27日には240^{ドル}まで戻している(グラフ①)。

ナフサは原油に追随し反発、月間平均は495^{ドル}、前月比27^{ドル}の上昇。バンカーC重油は原油に連れ急騰、月間平均で400^{ドル}どころ、前月比45^{ドル}高。

10月CPは前年同月比プロパン235^{ドル}、ブタン220^{ドル}それぞれ安い。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン12、ブタン14ポイントそれぞれ上昇、前年同月比ではプロパン20ポイント、ブタン17ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	57.0	58.8	65.4	68.3	62.4
CP先物指標：P	360	345	415	420	385
CP先物指標：B	370	360	425	435	398

② 原油市況等

WTI市況の推移をみると、9月前半は米中貿易協議の期待と不安、世界経済指標の良し悪し、サウジエネ相の交代などを受けて上げ下げ54~58^{ドル}のレンジで推移した。14日にサウジアラビアのアブカイク(Abqaiq)、クライス(khurais)の石油関連施設がドローンによるテロ攻撃を受けサウジアラムコは570万b/dの原油生産が停止したと発表、サウジ生産量(持続能力1,200万b/d)の約半分、世界生産量の約5%に相当し、オイルショック懸念から一時WTIも15%上昇の63.38に達したが、急騰警戒感と米戦略石油備蓄(SPR)放出許可も決定され、利食い売りも見られた。攻撃についてはイエメンの反政府武装組織フーシが犯行声明を発表、サウジ、米は背後にイランが関与していると非難、イランが反発するなど、改めて中東リスクの深刻さが意識された。その後は、サウジ石油施設の早期復旧見込み、米ボルトン補佐官の更迭、米中貿易協議の不透明感などから市況は続落、一時55^{ドル}を割り込んだ。

一方、米国内原油生産量は1,250万b/dの過去最高水準、原油輸出は300万b/d前後の高水準が続いたのに対し輸入量は低水準であったが、ガソリンシーズン終了で製油所稼働率が低下し原油在庫は増加、対前年同期比105.9%で供給過剰感の解消には至っていない。米石油リグ稼働数は減少、直近で前年同期を150基下回る713基となり原油市況を下支え。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は24日時点では424千枚と5月以来の水準(グラフ②)、買建玉は528千枚に増加、総取組高は16日に213万枚まで増加したが、26日には204万枚まで減少。

○9月積みアラビアン・ライト(9月1~27日の想定)は63.17^{ドル}(前月比+1.33^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン517.93^{ドル/トン} ブタン510.82^{ドル/トン}

AL比 プロパン81.09% ブタン85.16%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

2. 2019年9月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	107.91	48,500	48,900	46,500	+2,600	+3,900	+2,300
②末日締め	108.45	41,800	43,100	40,200	+3,200	+4,500	+2,700

*TTS平均について、①が8月21日～9月20日、②9月1～29日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①がCP75%、MB25%、②がCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

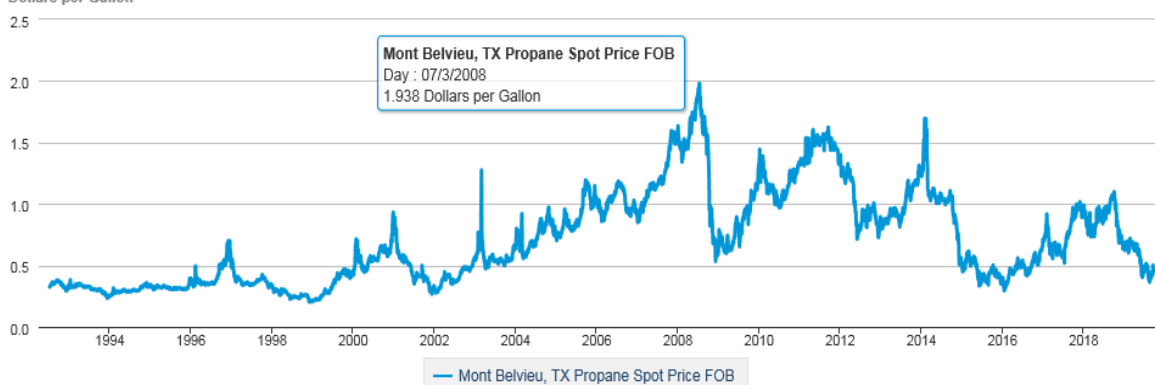
なお、上記MBは9月26日までの価格を基にEINで試算（235^{ドル/トン}）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①モンントベルビュープロパンスポット価格推移

Mont Belvieu, TX Propane Spot Price FOB

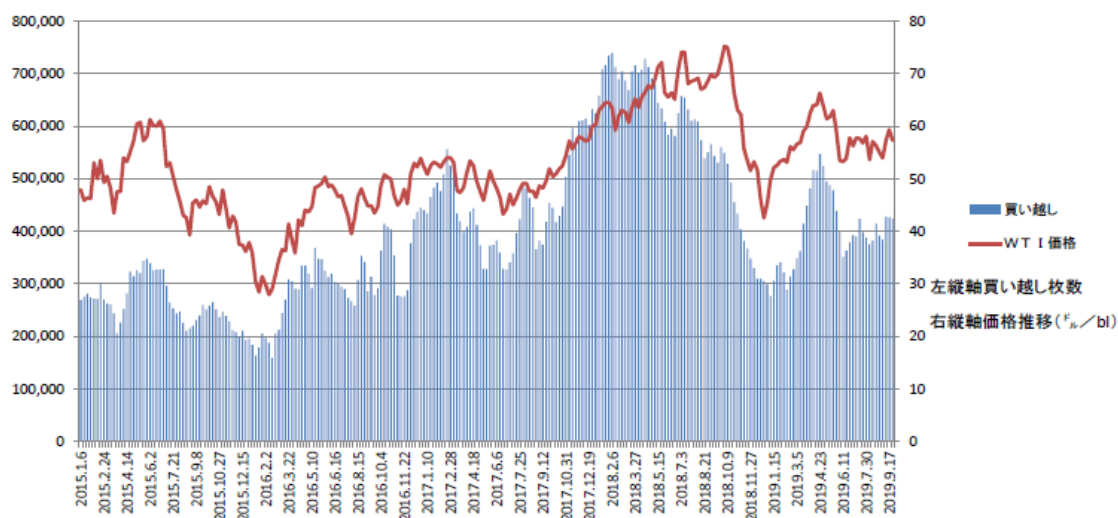
DOWNLOAD

Dollars per Gallon



②WT I 価格推移と大口投機買い越し建玉数

CFTC大口投機建玉買い越しポジションとWT I 価格推移



出典：CFTC- OIL, LIGHT SWEET - NEW YORK MERCANTILE EXCHANGE Code-067651Commitments of Traders - Futures Only